

# 令和6年度 学校評価(自己評価)

令和7年5月

学校法人 本郷学園 もみじ幼稚園

## 1. 教育方針

「幼児教育こそが大樹に育つための“根の教育”であり、自ら伸びようとしているその力を、いつくしみ育てることが幼稚園の役目である」(初代徳川宗敬園長の基本方針)

## 2. 教育目標

- 心身共に健康で、幼稚園生活を楽しむ
- 友達と仲良く遊ぶ
- 自分で考えて行動する
- いろいろなことに興味を持つ
- 思ったことや考えたことなどを表現する

## 3. 具体的な目標(こどもの姿・保育者の指導内容)

### ➤ **先生が大好きになる 幼稚園が大好きになる**

幼児期のこどもにとっては健康な心と体の育成は大前提である。幼稚園はこどもたちにとって家庭を離れた初めての集団であることをふまえ、まずは担任の先生に親しみを感じられるよう丁寧な対応をしていく。入園当初は保護者から離れられずともそれは自然な姿として温かく受け入れる。

幼稚園には地域の子育ての基地、という役目もある。子育ての専門家としての知識と経験を活かし、保護者に対しても大切なお子さんをお預かりしているという思いを忘れず相談には誠意をもって応じる。

### ➤ **好きな遊びを見つけて遊ぶ**

もみじ幼稚園ではまずはこどもが夢中になって遊べることを目指す。

夢中になれる遊びを見つけられると、こどもたちは幼稚園でも安定し、徐々に周りへの関心を広げていく。自分に自信が持て友達と関わってみようとするようになる。

こども同士のやり取りの中では、思いの違いからトラブルになることも多いが、保育者はこういったことを、こども同士が他の存在を知り、相手にも自分と同じような思いがあることを知るきっかけととらえる。それぞれの思いに寄り添い、自分の思っていることを言葉で伝えあえるよう援助していく。

➤ 主体的な取り組みをする

主体性を大切にす。好きな遊びだけでなく、指導計画に基づいた課題としての遊びにおいても、こどもたちが、（おもしろそうだな、やってみよう！）と思えるよう教材や課題、指導方法を工夫する。

年長組になると、運動会、こども会（劇の発表）といった大きな行事もあるが、保育者はこどもたちが（やらされている）と感じるのではなく（やってみたい！）と積極的に取り組めるよう活動の精選や指導を工夫する。

➤ 自然の中でいろいろなこと興味をもつ

地域でも群を抜く大きな木に囲まれた豊かな自然を生かし、こどもたちがいろいろなことに興味を持てるよう保育者も一緒に体を動かして遊びながら自然と関わる遊びや広い園庭での運動遊びに取り組んでいく。

自然物との触れ合いとしては、春と秋の虫探し。ダンゴムシ、コオロギ、セミや蝶を捕る。落ち葉で遊ぶ。お花を色水にして遊ぶ。やミカンやカキ、オシロイバナの種取りをして遊ぶ。などである。また、うさぎや金魚を飼っており、これらにエサをあげることを経験し、生き物への親しみや大事にしようとする気持ちも育てていく。

自然と触れ合い楽しく遊ぶ中で、なぜかな、といった科学の芽も育てていく。

4. 令和6年度重点目標に対する自己評価

①園児数増加

『園児数増加』につながる改革の立案

- ・ 0・1・2歳が遊びに来る日を毎週金曜日に実施
- ・ 通園リュックの導入
- ・ 「英語の先生と遊ぶ日」を年少組も導入
- ・ 夏期保育の拡充
- ・ 園長懇談会の見直し&充実
- ・ 広報活動の見直し。インスタグラムやポスターの活用

〈 成果と評価 〉

定員に満たない状況が続いている現実を、教職員一人一人が真摯に受け止め、どうすれば園児数を増やすことができるか話し合いを重ね、対策を打ち出した。立案は全て実践したものの、園児増加にはつながらなかった。

かろうじて年少組を2クラスにすることができたのは、未就園児クラスの在籍児の多くが他園に流れることなく、本園に入園したことが大きく影響している。この点については評価できるが、更なる園児数増加には、大々的な改革が必要だと考察できる。

評価 C

## ② 創立 70 周年である節目を大事にし、教育の充実をはかる

### 創立 70 周年である節目を大事にし、教育の充実をはかるために

- ・ 9 月 9 日に 70 周年式典を行なう(創立記念日である 9/10 は休園)
- ・ 9 月 21 日に 70 周年記念もみじまつりを行なう(本郷祭と同日)
- ・ 10 月 12 日の運動会で、記念競技を取り入れる
- ・ コロナ禍は卒園生が幼稚園を訪れることができなかったので、70 周年の節目に卒園生も足を踏み入れやすい機会を作り、卒園生の存在を大事にする。
- ・ 70 周年の節目に、もみじ幼稚園の基盤となる『根の教育』を再確認し、もみじ幼稚園の良いところ、もみじ幼稚園の特徴を打ち出し、実践していく。

### 〈 成果と評価 〉

創立 70 周年の特別企画であった、『創立 70 周年式典』と『もみじまつり』はどちらも滞りなく行うことができた。特に『もみじまつり』は、想像を上回る来園者数で、大盛況であった。コロナ以降卒園生が来園する機会を作ることができない状況が続いていたので、多くの卒園生が教職員と対面できた光景は 70 周年の節目にふさわしいものであった。もみじまつりの企画運営に関しては、保護者有志が中心であったため、保護者・幼稚園・子どもが三位一体となる貴重な行事となり、70 周年の節目に教育の充実をはかることができた。

また、運動会のプログラム内に取り入れた記念競技も大好評で、幼稚園全体が祝福と充実感に満たされる行事となった。

評価      **A**

## 5. アンケートによる学校関係者評価の実施と評価

- 実施日：令和 7 年 2 月 25 日～3 月 10 日
- 対 象：全学年保護者
- 方 法：アンケート用紙配布→事務室前に回収ボックス設置
- 回答率：41 名/68 名 約 60%
- 結 果：別紙参照

### 【自由記述の抜粋】

- ・ 先生方の子どもと親に対する向き合い方にあたたかさを感じる。人との距離の取り方が難しくなっている令和の時代にもかかわらず、先生方それぞれのバランスが良いので、親子共に安心して楽しい園生活が送れるのだと思います。
- ・ 保育室環境は、年季が入っているのは否めませんが、整頓や清潔さは、清掃が行き届いていると思います。
- ・ 子どもが幼稚園大好き！と言いながら通っています。行くのが楽しくて仕方ない様子です。そのような幼稚園にしてくださり、ありがとうございます。
- ・ レーザーキッズを導入したり、預かり保育が水曜日でもできるようになったり、長期休暇も日数が増えて、園長先生を始め先生方がたくさんお話をして決断されたのだと思います。これにより、働くお母さんにも寄り添う幼稚園になって、生徒数が増えることを願っております。
- ・ 園長懇談会がすごく良い取り組みだと思います。
- ・ 小魚大好きです。子どもの知識になってパワーにもなっているようです。続けてください。

- ・ お勉強重視の園も多いようですが、遊びの中から学び、子どものころしかできない体験をたくさん得られるもみじ幼稚園が大好きで、親子共々楽しく通わせて頂いています。
  - ・ 恵まれた環境のもと、先生方やお友だちとのコミュニケーション力、考える力、ゼロから何かを作り出す発想力など、これからの人生を豊かにしてくれる時間と贈り物をたくさん頂きました。
  - ・ 嫌いだったトマト、柿、カレーも、もみじ幼稚園での食育により、大好きな食べ物に変わりました。
  - ・ 入園した時に比べ、食育の機会が増えたように感じます。育てて調理して食べる、という一連の流れが、子どもたちにとってもささっていて、好き嫌いがなくなったり、草花に興味を持ったりと良い影響しかなかったと思います。
  - ・ 本郷学園との交流について。吹奏楽部、図書委員、奇術部の方々に加え、今年度は柔道部の方とも交流があり、子どもがとても喜んでいました。本郷のお兄さんたちはまさに紳士で憧れのようです。今後は是非たくさん交流できる場面があると素敵だと思います。
  - ・ 学食利用もルールを設けて告知されたら、保護者の方に喜ばれると思います。
  - ・ この時代に昔ながらの幼稚園の教育方針は、難しいこともあるかと思いますが、子どもの母校としていつまでもあたたかい幼稚園でいてほしいなと思います。
  - ・ 温かく思慮深い先生方、落ち着いた園舎、本郷学園の校舎で遊ばせて頂いたり、お兄さんとの交流の特別感、穏やかな安心の中でたくさんの豊かな経験ができたと感じております。
- 
- ・ お弁当の衛生面について、梅雨時や夏は保冷剤だけでは心配なので預かって冷蔵庫に入れてもらえると安心できます。
  - ・ 週4回給食も選べたら嬉しいです。
  - ・ お弁当有りの伝統は守りつつ、夏の時期だけ希望者のみ毎日給食ありにしてもらえると助かります。
  - ・ なかよしくらぶ(預かり保育)で夕方お迎えの際、真っ暗なので防犯上安全面など、少し心配になることがありました。
  - ・ 皆勤賞をもらうために体調が少し悪くても登校しているお子さんがいることを耳にしました。幼稚園として皆勤賞について考えて頂けたらと思います。
  - ・ 預かり保育が大幅に増えてありがたいです。欲を言えば、預かり保育の時に、部屋の中だけでなく、園庭、遊戯室など、身体を動かして遊べるスペースがあるとよい。
  - ・ 園内での怪我やトラブルが発生した時に、状況が把握できていないケースがありました。
  - ・ 個人情報の取り扱いはより丁寧にするべきかと思います。(欠席の際の詮索など)
  - ・ 子どもの最後の卒園式だけは、後方席に写真撮影 OK を設けるなどして、写真動画 OK にして頂けたら嬉しかったです。
  - ・ 今年度は月曜日が祝日や振替休日が多く、体力作り教室が少ないことが気になりました。別曜日に変更など対応して頂けると子どもたちも喜ぶかと思います。
  - ・ ひとつあるといいなと思ったのは朝の預かりです。
  - ・ インスタの更新が増えてほしい。
  - ・ 帰りのお迎えの際、もう少しテンポよく帰してほしいです。
  - ・ 園庭開放は、一度門を出ずにそのまま遊ばせたいです。
  - ・ 時折子どもたちだけで教室で遊んだりする時間もできてしまうのかなと思うことがあり、少し気になっています。
  - ・ 遠足などの行事の詳細をもう少し早く教えて頂けると助かります。
  - ・ 先生方がお優しいので、ルールを守らない方にも寛容すぎるかなと思うようなことが多少ありました。幼稚園が特定できるような写真や集合写真を許可なく SNS にあげている方など聞いて、当たり前と思うようなことでも、最初に説明などした方が良くないかなと思いました。

## 〈 総括 〉

アンケート結果は、保護者のほとんどが各項目に対する評価として「当てはまる」「だいたい当てはまる」との回答をしている。一方で、若干名ではあるが、「当てはまらない」と厳しい回答も見られた。また、項目 5『もみじ幼稚園の園舎、保育室環境に満足している』と項目 16『もみじ幼稚園の PTA 活動に保護者の関心が高く、協力的である』の評価が低い傾向があることも受け止めなければならない。

自由記述の欄では、これまで数人から同じ内容の意見が重複する案件があったのに対し、今年は重複するものがなく、個人個人の意見が目立った。その所以は、令和 7 年度から大きな改革を行うことを告知し、長期休みの預かり保育や、欠席連絡のアプリ導入など、保護者からの要望を実際に取り入れることが決まったことが影響しているのではないかと考えられる。

幼稚園の教育内容に賛同するご意見や、より良い幼稚園作りのための前向きなご指摘が多く、保護者の方々のもみじ幼稚園に対する、ご理解とご協力を感じる結果となった。そうした結果に甘んじることなく改善を図らなければならない面に目を向け、より一層の努力をしていきたい。

## 評価 B

### 6. 対面による「学校関係者評価委員会」の実施と評価

- 実施日時：令和 7 年 3 月 12 日 9 時 30 分～10 時 30 分
- 場 所：もみじ幼稚園会議室
- 出席者：豊島区議会議員 片岡きょうこさん・父母の会代表 8 名・本郷学園理事長  
もみじ幼稚園園長 計 11 名

令和 6 年度末に行ったアンケート結果に基づき、父母の会の代表の方々、本郷学園理事長、もみじ幼稚園園長の計 11 名で、学校関係者評価を行なった。



### ■集計結果を考察

- ・ 項目4の園庭の環境に関しては評価はほぼ 100%で満足。一方で項目5の園舎の環境に関しては評価が低い。  
 ➡特に水回り、トイレは清潔にしても古さが否めない結果が低めに出ているか
- ・ お迎え時間  
 ➡日中の様子を知りたい／スムーズに帰りたい、と双方のご意見がある模様
- ・ 習い事やご用事がある、先生方の個性などすべてを尊重して無理のない範囲で対応していきたい。(朝の送るタイミングで先生に一言、早く帰りたい旨お伝えさせていただく・早く借りたいカードなどの案が出た)

## ■自由記述の部分に対するの考察

### お弁当／給食について

#### <夏場の傷み・衛生面について>

- ・ 現状の冷蔵庫に 70 人分入れるのは難しい
- ・ 常温が細菌繁殖する可能性が高いので、いっそのこと夏でも温めた方がいいのでは？
- ・ 今までお弁当で食中毒になった事例はないという事実も踏まえて(お教室は冷房が効いている環境で保管されている)
- ・ 親側が傷みにくいお弁当、おかずの詰め方や作り方を共有する機会があってもいいかもしれない(果物、冷たくしていいものは予め凍らせて入れておく)
- ・ お弁当袋はきんちゃく袋でなくてもOK(内側がアルミホイルになっているものでもOK)→この周知をはかる

#### <給食給食週4日制の希望について>

→実現したとしても、「選択制」にはこだわっていききたい、給食を強制にはしたくないという園長先生のお考え。

### 本郷学園「レパスト」さんの食堂

水曜日以外でも利用してOK, 改めて利用ルールを案内できれば◎

### 夕方、幼稚園前の暗さ対策・防犯面

└街頭の調整、確認をしていただける(園の外)

└以前は 17:00 降園を想定していなかったため、現状に至るとい背景もある

### 先生方の撮影していただいた写真

- ・ 先生方撮影の写真を閲覧、購入したいという要望は多いはず  
 →ニシノフォトさんとは異なるいい表情を先生には撮っていただけているからこそ手元に残していきたい
- ・ SNS での写真の保管の仕方  
 →「残しておきたい」「SNSに残っているのは怖い」真逆の意見がある中で
- ・ 現状はインスタメイン投稿:お知らせ、ストーリーズ:普段の様子、にて進めていく

### 行事の際の撮影

- ・ 卒園式  
 →撮影したい、というご要望については現状ニシノフォト／有志の方の写真・動画撮影にて対応している  
 →卒対さんは当日忙しくなってしまうので、年中／年少さんから有志の方がお手伝いしてもいいのでは？
- ・ 卒園式の席問題

→年中・年少組さんが参列するため、年長さん保護者の中で「座れないのでは？」という情報が回ってしまっていたようなので改めてご案内する

#### 参観日について

- ・ 時間が長すぎるのでは？  
→参加時間が長く自由になると園児によって親の参観の幅ができてしまって寂しいなどの感情の元になることもある。  
→ただ、コロナ明け後に「もっと見学できるように」と時間制限を撤廃したという背景があるので、現状はこのまま変更予定は無し

評価      B

#### 7. 今後取り組むべき課題

##### 自己評価及び他社評価を実際の保育に生かす

学校評価をホームページに開示するのみに留まらず、職員間でも結果を共有し、今のもみじ幼稚園の課題を共通理解した上で、日々の保育に勤しむ。また、アンケートの質問事項ではなく自由記載された具体的な要望やご意見に対しては、可能な限り解決に臨む。

以 上